企業化状況の実態調査票

 　　 　　　　　（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 助成事業年度 | 平成 ２９年度 | 企業名 |  |
| 試作題目 |  |
| ご担当者名 |  |
| 資本金 |  | 万円 | 従業員数 |  | 人 | 売上高 | 万円 |
| 株式の上場あるいは公開の有無 | １ 有り (　　年　　月)２ 無し |

１ 令和４年度において該当する項目がありましたら、○印をしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 助成事業の成果に基づく製品の販売又は譲渡 | あり・なし |
| 助成事業の成果に基づき取得した特許権、実用新案、もしくは意匠権の譲渡又は実施権の設定 | あり・なし |
| 上記に揚げるもののほか、助成事業の他への供与（助成事業で得たノウハウを他へコンサルティングを行い収益を得た場合など） | あり・なし |
| 製品の事業化の状況(どの段階か○印をつけてください) | 　1　第１段階 製品販売に関する宣伝等を行っている。　2　第２段階 注文(契約)がとれている。 　3　第３段階 製品が１つ以上販売されている。　4　第４段階 継続的に販売実績があるが収益はない。　5　第５段階 継続的に販売実績があり収益もある。 |

２ １について｢あり｣の場合は、次表に記載してください。(｢なし｣の場合は３へ進んでください)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試作品又は製品の名称（産業財産権の譲渡等も含む） | 販売数量・単価 | 販売又は譲渡金額(円) | 総収入を得るに要した額(円) | 本年度収益額(円) |
|  |  |  |  |  |

 注）「販売又は譲渡金額」の算出根拠資料として、試作品又は製品の原価計算書（次表を参考）、生産及び販売実績書、特許権等の譲渡契約書の写し等を添付してください。

 （参考）【原価計算書】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科 目 | 金 額 （円） | 備 考 |
| Ａ 原材料費 |  |  |
| Ｂ 外注加工費 |  |  |
| Ｃ 労務費 |  |  |
| Ｄ 工場経費 |  |  |
|  | (1) 電力費 |  |  |
| (2) 燃料費 |  |  |
| (3) 修繕費 |  |  |
| (4) 消耗品費 |  |  |
| (5) 保険料 |  |  |
| (6) 減価償却費 |  |  |
| (7) 福利厚生費 |  |  |
| (8) その他の経費 |  |  |
| Ｅ 当期総製造費用（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） |  |  |
| Ｆ 期首仕掛品棚卸高 |  |  |
| Ｇ 期末仕掛品棚卸高 |  |  |
| Ｈ 当期製造品製造原価（Ｅ＋Ｆ－Ｇ） |  |  |
| Ｉ 一般管理費及び販売費 |  |  |
| Ｊ 総原価（Ｈ＋Ｉ） |  |  |

３　助成時テーマにおける令和４年度の取り組み内容を教えてください。

|  |
| --- |
|  |

４　助成事業における自社内への波及効果

　（製品化に至らなくても、生産性や技術力の向上につながった事例を具体的に記入してください。）

|  |
| --- |
|  |
| 雇用人数 | 増加　　　人維持　　　人 |

５　助成金制度の利用満足度

|  |  |
| --- | --- |
| １ 利用して良かった２ 普通３ 利用したが不満が多い | 理由（今後のため具体的に記入ください） |

６　意見・要望（自由に記入ください）

|  |
| --- |
|  |